

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域に生きる

2013年4月 発行 / 第53号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



## 発達障がい児療育支援部 will Link（療育の様子）

上左写真：運動会での缶積み競争  
下左写真：城跡公園でボール遊び

上右写真：七夕かざり  
下右写真：電車でおでかけ

平成25年度

## 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 なか むら せつ し 中 村 節 史

○かけがえのない法人を目指し、「**信頼され尊敬される法人**」を確たるものにするために、全ての面での質の磨き上げに邁進する。

○今年も「**現場力**」「**突破力**」「**提案力**」を大切な合言葉として活動にとりくむ。

### 1. 財務体質の強化

今後の施設整備、新規事業に要する資金の増大に備えるため、収益体質の強化をはかり、キャッシュフローを更に改善する。

現在のケアホームの運営強化と同時にジョブサイトひむろの移転、次期ケアホームなどの懸案事項の検討に着手する。

### 2. 法人組織の整備

当法人の事業の方向性を示す「**地域一般化**」と「**広域特化**」を更に進展させると同時に、法人の内部からも外部からも見えやすい形にするため、法人組織の再整備に取り組む。

②開設5年目を迎えた「高槻地域生活総合支援センターぷれいすBe」の事業をご利用者ニーズに即した形に再編成する。

1) 大阪府全般を対象として十三地区で展開している発達障害支援事業群を統括する「**大阪発達障害総合支援センター**」を設置し、幼児・学齢期～成年・成人期までの各ライフステージに亘る一貫した支援活動を明確にするとともに、地域の発達障害児者に対する相談支援事業にも着手する。

### 3. 拡大する発達障害支援ニーズへの的確な対応

特に大阪市、高槻市における利用者の各ライフステージにおける支援ニーズの拡大と当法人への支援期待に的確に対応するため府市行政との積極的な取り組みを進める。又就労を求める発達障害の大学生やボーダーの方への支援受け入れ態勢も準備を進める。

2) 高槻市を中心とした北摂の地域支援を強化するため

### 4. 人材の安定確保と育成

法人の支援力の向上と今後の安定的発展のために、更に人材の安定確保と育成に注力

①新たに「**地域生活支援部**」を設置し、

する。

職員研修の充実と共に、職員の能力が十分生かせるための「当法人に適する専門職制度」などの人事制度や給与制度の検討を進める。

## 5. 利用者の重度・高齢化対策

重度・高齢化プロジェクトを中心に次の5つのテーマの取り組みを進める。

- ①重度・高齢化予防対策
- ②バリアフリーの拡大
- ③長期複数入院対策
- ④医療との具体的連携
- ⑤医療職体制の充実

特に「まの・すぎのこ こどもクリニック」の真野先生との連携については、巡回相談の仕組みを作り上げる中で、法人独自の「杉の子カルテ」を順次整備していく。

## 6. 授産事業の強化

利用者工賃の改善のため、当法人独自で差別性のある製品（コロッケ、ガレット、陶器およびその関連製品）の販売強化と生産体制の検討を進める。

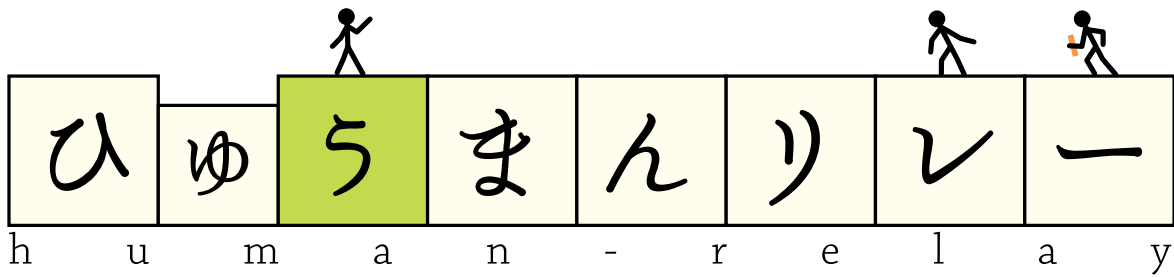
又一般就労希望者の受け皿として、就労継続A型事業の検討を今年から開始する。

## 7. 法人の社会的責任

法令順守の徹底、危機管理のしくみの整備は勿論の事、ご利用者の人権擁護（虐待の防止、成年後見制度など）の取り組みに力を入れる。

ご利用者の虐待防止については、法人が設立以来一貫して大切にしてきた「ご利用者に対する虐待は許さない」を更に大切にする。





NPO法人アーツプロジェクト 代表 もりぐち 森口ゆたかさんより

## ホスピタル・アートで療養環境の改善を

### 1. はじめに

病院や老人保健施設などの療養環境を、より快適な癒しの空間にするためにアートを積極的に取り組もうとする「ホスピタル・アート」が世間の注目を浴び始めています。この場合のアートとは、絵画・彫刻などの造形表現に留まらず、パフォーマンス・アーツや造園、建築までを含む幅広い意味でのアートを指します。療養環境に居ることを余儀なくされている方々は、ただでさえも心身共に不安に包まれています。にもかかわらず、実際の療養環境はまだまだ患者さん達の五感を喜ばせるような空間ではなく、反対に精神的、身体的な落ち込みを助長させるかのような空間も多いのが現状です。療養環境にアートを取り入れることによって、何がどのように変わるのかを、当NPO法人アーツプロジェクトの実践例を挙げながら、ご紹介したいと思います。

### 2. イギリスでの取り組み

1999年にイギリスのマンチェスターに

於いて開催された“CHARTS '99”と題されたシンポジウムは、療養環境を改善する為にアートの持つ力は非常に有効であり、今後更に推し進めてゆくべきであるとの趣旨の下で開催されました。世界26カ国から実に500名以上の参加者があり、各国に於ける事例報告が一週間に渡って繰り広げられました。参加者の職業は、医師、看護師、その他の病院関係者、建築家、デザイナー、アーティストなど多様な顔ぶれでした。当時私は夫の仕事の関係で二年間イギリスに滞在しており、縁あって、このシンポジウムの為に日本からの発表者をお招きするという主催者側からコーディネーターの役割を任せられ、このシンポジウムに深く関わりました。それまで日本では、画廊や美術館でしか作品を発表していなかった美術家である私にとって、イギリスのアーティスト達が積極的に自らの作品を病院や福祉施設に質の高い作品を提供している姿を見て、目から鱗が落ちる思いがしました。アートが決して美術愛好家の為だけに存在するのではなく、病气や加齢で心身

共に弱っている方々の為に真に役立っている現場を目の当たりにして、アートの限りない可能性を感じ、是非日本にもこの活動をお伝えして、日本の医療現場でアートのもつ力を発揮させたい、との強い使命感に駆られたのです。

### 3. NPO法人アーツプロジェクト

イギリス滞在中に妊娠した私は、大きなお腹に新しい命とホスピタル・アートの両方を抱えて帰国しました。乳飲み子を抱えながら、日本の医療関係者にイギリスで学んだホスピタル・アートの活動を伝えることを始めたのですが、当時の病院にも壁にアート作品は飾られていたので、それらのアートと、このホスピタル・アートとの違いを理解してもらうには、数年の歳月を要しました。ホスピタル・アートというのは、あくまでも患者さんやそのご家族、医療関係者、建築家、デザ

イナー、アーティストが共に手を携えながら、その療養空間に最もふさわしいアートの姿を生み出していくものであり、決してアーティストの作品発表の場ではないのです。幸いなことに、このことを理解して下さった関西ろうさい病院の早川名誉院長先生が、当NPO法人に最初の仕事を任せてくださり、それが好評を博し新聞やメディアで多く取り上げられるようになり、お陰様で現在では国立総合病院を含む大小20箇所以上の病院でホスピタル・アートを展開させていただいております。とは言うものの、これからも益々このホスピタル・アートを全国津々浦々の療養環境で皆さまに享受していただけるように、19名のメンバーと共に日々努力を重ねてゆく所存です。ご興味をお持ちの方は、是非当法人HP (<http://www.arts-project.com>) をご覧いただきますようお願い申し上げます。



大阪厚生年金病院 壁画

# 地域における包括的支援体制の構築をめざして

## ～地域連携を考えて～



大阪市立十三中学校

教頭 わたなべしんじ 渡邊進司 さんより

月に一度、職員室に、「よどのコロッケ」が、販売に来てくれます。みな、楽しみに待っています。コロッケの美味しさだけではなく、販売の子と会うのが楽しみで待っています。少しでも、社会体験が増えてほしいとの思いの中で、つながりが始まりました。だから、初めから、大量の販売を目標にするのではなく、当たり前前の取組みとして、無理のないところから始めていただくことにしました。売れる日もあれば、売れない日があってもいい、無理なく、継続して、当たり前になるようにと考えています。このような「つながり」をきっかけに、「地域に生きる子どもたちと関わりを持つ」という交流を、大阪市立十三中学校ではしています。

### ジョブサイトよどとの連携

教諭 ふくだにとしひろ 福谷利浩 さんより

昨年十三中学校に赴任してから二度、ジョブサイトよど様と関わる機会がありました。最初の機会は去年の八月でした。教員研修の一環としてジョブサイトよど様の事業所で社会体験研修を受けさせていただきました。そして二度目の機会は11月でした。「よどまつり」において本校生徒を4名引率し、ジュニアサポーターとして祭りのお手伝いをさせていただきました。

社会体験研修の際、事業所の方が、利用者さん一人一人に対してきめ細かい配慮をされている様子に感銘を受けました。そういった気遣いなどは、いま現在の学級経営・生徒理解の参考にさせていただいております。また「よどまつり」に参加した生徒たちは、自分たちの住む校区内にジョブサイトよどのような支援施設があるということを知る良い機会になったと感想を述べていました。私自身も生徒達と同様に、支援施設の実際を知る素晴らしい機会であったと思います。

ジュニアサポーターでお世話になった子どもたちの様子や自分自身の学びの中から、人とのつながりが知識や人間性の幅を広げていく大きな一助になるのではないかと、改めて感じました。

### 職場体験とよどまつり

2年2組 もんじまさや 文字昌也 さんより

ぼくは、よどまつりとよどのコロッケでの職場体験学習をしました。

よどまつりでは、ダンスとわなげとボーリングとコインおとしとピンボールなどたくさんのゲームを、ジョブサイトよどのみなさんといっしょにたのしみました。はじめてよどまつりにさんかしましたが、とてもたのしかったです。

よどのコロッケでは、いろいろなことを体験できました。いろいろなコロッケを種類ごとにわけたりしました。シールをパックにはりました。紙をきりました。

おきゃくさんからの注文をうけてコロッケをふくろに入れてわたしました。「ありがとう」と言ってくれたときはうれしかったです。

よどまつりと職場体験学習をとおして、ぼくは人と人とのつながりの大切さを学びました。

## パートナー企業として共に勝つ 「北摂杉の子会とFIELD土香」の今後

創作陶芸家集団 株式会社FIELD土香

代表取締役 <sup>やす</sup>安 <sup>み</sup>見 <sup>いち</sup>一 <sup>ねん</sup>念 さんより

弊社は「今城焼窯元」として長年活動して参りましたが、全国の様々な業態の飲食店に対し、店舗コンセプトの提案や、オリジナル料理の開発からスタッフの人材教育に至るまでトータルにプロデュースしながら、その店のその料理のプライベートブランドの器をデザイン制作するというスタイルで事業展開しております。このような企業は全国に弊社のみであり、その独自のスタイルは業界から多くの支持を頂き、取引先は北海道から沖縄まで、海外は東南アジア、オセアニア圏の飲食店にまで納品させて頂いております。また、社名頭に「創作陶芸家集団」とあるのは、10名以上の所属陶芸家が個人事業主としても弊社の様々な関連事業を共に行っている事を表わしています。つまりFIELD土香とは一つの企業というより複合企業体と言えるでしょう。

さて、数年前から始まった北摂杉の子会への業務委託は、御法人の松上常務理事と30年以上前からの知人でもありました事が御縁でしたが、委託するにあたり、どのようにしたら施設利用者の方にとって、**本当の意味の仕事としての陶芸**が確立できるか話し合いました。「成果が出始めるのに5年はかかるが、それでもいいか?」と松上氏に尋ねたところ、「今までのような福祉の陶芸はやりたくないからそれでいい」と返答されたことを今でも記憶しています。これを踏まえ弊社から陶芸家1名（現在は北摂杉の子会に籍を移し十三の施設で勤務している篠永氏）を出向させました。それは技術のない北摂杉の子会の職員の教育、利用者の方への指導、作業の組み立てや運営

を行う為であり、福祉系大学を出て施設勤務経験もあり、陶芸家として活動していた彼女は正に適任でした。

こうして始まった北摂杉の子会の陶芸部門ですが、利用者の方の弱みと強みをどうすれば商品の特徴と強みに変えられるかという問題に想定以上の時間を要してしまいました。しかしその商品は今や全国に弊社の商品として販売され、取引先にも福祉施設の製品である事はほとんど気づかれません。その事を紹介すると大変驚かれます。利用者の方の陶芸作業は今後も強化発展させることで、益々拡大していくと考えられます。また昨年より、弊社施設「今城文化民芸館」の清掃業務委託を始めましたが、4月から本社屋にも拡大させています。

企業人ですから福祉的用語で表現できないところはご容赦願いますが、弊社にとって**重要なパートナー企業**となってきた北摂杉の子会とは、今後も利用者の方の給料面と働く環境の改善、そして弊社の事業拡大とを共に進める事で更なる可能性を生むものと確信しております。そのためにも施設拡充（移転も含めて）は併設型という新たな考え方が不可欠であると考えています。北摂杉の子会でもこの点をご検討のほどお願い申し上げます。

地域社会の中で「共に勝つ」ために。



# 「中高生の本人支援の取り組み」

～PASSOからの発信～



研修相談支援室 PASSO (パッソ)

主任 臨床発達心理士 <sup>おお</sup> <sup>さわ</sup> <sup>か</sup> <sup>よ</sup> <sup>こ</sup>  
大 澤 佳世子

## ● はじめに

「PASSO (パッソ)」は、当法人の研修相談支援室にある本人支援・療育相談・発達検査を実施している事業所です。

「PASSO (パッソ)」とは、飛行機を乗降する際の「タラップ」のイタリア語が「PASSO」で、「ステップ、足元、気軽に」といった意味があります。発達障がいがあり、学校や地域で生きづらさを抱えている中高生が、次のステップへ歩みを進めるための橋渡しの支援ができる場所になればと思ってつけた名称です。

## ● どこで？



地 図



建物外観

## ● 事業の経緯と内容

### ① 「個別評価コース」

当法人では、3療育センターで就学前～小学校3年生までの療育を、個別の評価をもとに丁寧に実施しています。近年、療育終了後のフォローアップの相談や、フォローアップのための保護者研修のニーズが高く、それを研修相談支援室が、3療育センターからケースを引き継いで実施してきました。療育を終了して数年は保護者と学校で対応してきたけれど、学年が上がるにつれ新たな課題が生じてきた、学校とこじれてしまった・・・などの相談が寄せられ、保護者と先生と一緒に継続して相談に来られるケースが

増えてきました。

また小学校高学年といえば、思春期にさしかかり、身体の変化への対応や親子の距離の取り方などが難しい年頃であり、発達障がいのある子供さんの対応が容易でないのは当たり前です。そこで、療育終了後もしくは、就学前や低学年時に療育を受ける事の出来なかった方のニーズにこたえる形で、PASSOの「個別評価コース」を立ち上げました。



## 「個別評価コース6回パックの流れ」

対象：小学校4年生～成人の方で自閉症と診断された方  
(知的障害の有無問わず)

定員：6名～10名程度(年間)

### 〈目的〉

発達検査だけでは分からない、認知面や行動面の特性を実際に作業や課題をしてもらう中で、評価していきます。ご本人に合わせた支援方法について、具体的なアドバイスを行い、**個別支援計画の素案**を立案します。

- 1回目：保護者からの聞き取りによる事前面談
  - 2～5回目：ご本人が来室して90分間の評価
  - 6回目：支援者（家族・学校の先生等関係機関）へ4回実施した結果報告と今後の生活への助言
- \* 個別支援計画を作成**



終了後・・・



本人支援コースへ

## ②「高機能自閉症・アスペルガー症候群の方のための本人支援コース」

アクトおおさかの相談ケースの中には、大人の高機能自閉症・アスペルガー症候群の方々に、中高生の時に生きづらさから不登校になり、そのままひきこもりになっているケースがたくさんあります。その方々は学齢期、思春期という大切な時期に専門的な療育を受けてこられず、周囲の無理解に苦しんでこられたケースが多いです。

そこで、「高機能自閉症・アスペルガー症候群の方のための本人支援コース」を設け、現在の福祉制度では専門的な療育サービスがない小学校高学年～中高生を対象とした本人支援コースを始めることにしました。

### 「本人支援コースの流れ」

対象：小学校4年生以上中高生の方で、主に高機能自閉症・アスペルガー症候群と診断された方(ADHD、LDの方も)



### 〈目的〉

「支援に生かす個別評価コース」で、評価された目的に従ってプログラムを組みます。行動管理、感情のコントロール、人との付き合い方などの支援システムを使えるようにスキルを身につけることや自分の得意な事・苦手な事を知り、自己理解を進めることが目的です。

1～5回目：ご本人が来室して「個別支援計画」に基づく個別支援プログラムを実施(1回90分)

6回目：支援者（家族や学校の先生・施設の職員など）に対して本人支援の結果報告と今後の生活への助言。

**\* 利用継続が可能**

### 〈90分のプログラムの流れ(例)〉

- ①自力通所、提出物管理、スケジュール確認、クールダウン
- ②自立課題・家事・作業課題
- ③リラックスの練習

- ④緊急相談、感情コントロール、健康管理、衛生習慣、進路、性の話、人づきあい、告知プログラム等を、コミック会話やソーシャルストーリーズなども活用して支援
- ⑤メンバーによっては、グループ活動をして、対人面の課題の整理

- ⑥ふりかえり（達成感、よくできたこと、難しかった事、質問、スタッフからのメッセージ、次回の予告と宿題の確認）
- ⑦身だしなみチェック、片づけ、支度をして一人で帰る

### ③家族支援プログラム

#### 〈プログラム内容〉

- ①自閉症スペクトラム障害の特性の理解と支援
- ②本人支援コースの概要と家庭で大切にしてほしい事
- ③思春期をどう迎えるか？～親子関係、性の問題～
- ④自己理解と告知
- ⑤成人期の自立を見据えた進路決定への支援



### ● 中高生の本人支援コースの成果

ご利用者の状況は下記の通りです。北摂地域・大阪市内・泉州地域と大阪府全域から公共の交通機関で通所されています。

小学生	4名
中学生	6名
高校生	2名

通常学級在籍	2名
支援学級在籍	9名
支援学校在籍	1名

通常学級も利用	6名
支援学級のみ	3名
登校渋り	1名
不登校	2名

支援開始前
◇進学・進級の環境の変化のたびに頑張りすぎて不登校や対人面のトラブル多発
◇誰にも言えない、いじめ、人づきあい、第2次性徴の悩み
◇学習、家事、友達付き合いどれをとってもうまくいかず「ダメな自分」という自己否定感でいっぱい
◇不登校と2次障害で苦しい毎日
◇誰もわかってくれない孤独感
◇日常の持ち物管理、時間管理、衛生習慣の意味が分からず、うっかりミスと不衛生なイメージ
◇家族との関係が悪化していて、鋭い目つきで母親をにらみつけ暴言・暴力もあった
◇学校での支援が、うまくいかず、学校もどうしたらいいかわからない



本人支援2年目
環境が変わる時の自分の体調・心の変化を客観的にとらえる習慣がつき、心と体のコントロールの方法を習得、自分のペースで登校できる
相談したら解決した!という経験を積み、些細なことも気兼ねなく相談でき、とらえ違いや次へのステップを整理
「俺って最高!」「こんなことも一人でできる!!」という自信から、自己肯定感をもち、どんなこともプラスと感ずることができるようになる。家事はぼくの仕事!任せて!
PASSOに来て無理なくできる活動を積み、今とこれからの見通す練習をすることで、進学(自己実現)できる
同じ悩みを持つ仲間との出会い、共感、趣味の情報交換を始める
忘れ物が減ったり、時間を守ることが定着。健康管理から衛生習慣の必要性が分かり、体調の自己管理へとつながった
ご家族が、家族グループに参加し子どもの特性理解も深まり、親子関係の修復効果もあった。やわらかい目つき、笑顔でお母さんと会話
事後面談に毎回出席してもらい、本人の変化を共有。学校ができる事を連携してもらうことで、学校でも先生と生活の振り返りができるようになった

## ● 本人支援コースの今後

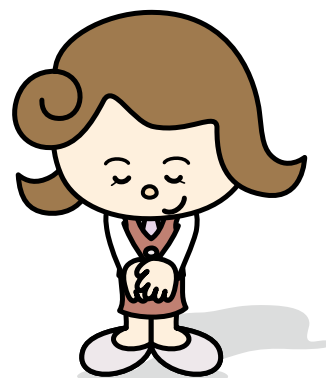
「PASSO (パッソ)」で、中高生を中心に本人支援をしてきて2年が経過しました。

どのご利用者も大なり小なり一定の成果は見えてきたものの、中学進学、高校進学、就労、大学進学へと短い期間で環境が変化する中、自分探しはずっと続きます。本人支援に終わりではなく、12人12通りの支援が必要です。でも、このサービスを利用希望される方はたくさんおられます。以下に今後のPASSO (パッソ) の課題と展望を挙げます。

課 題	展 望
◇現在の福祉制度にないサービスのため、自己負担の費用が高い	①療育経験のあるご利用者で「個別評価コース」をご希望のご利用者は当法人の療育センターで、評価できるようにスタッフに評価方法やノウハウを引き継いでいく ②中高生支援の実績を積み支援モデルを開発する ③利用ニーズ調査や効果検証を行い行政に支援モデルを提案していく。
◇学校や地域の相談支援などへ支援をつなぐ橋渡しが重要。学校・医療機関との連携の仕組み作り	①PASSO (パッソ) の療育相談、発達検査、ケース会議機能を活用して、発達障がい専門機関として関係機関と連携していく ②学卒後、大学などの学生相談室、就労支援機関、地域の支援機関への移行モデルづくり
◇PASSO (パッソ) の本人支援コース終了後に相談できる場所がない	①PASSO (パッソ) ご利用者のフォローアップの支援として「本人相談サービス」の設立 ②同窓会として、土曜日などに少人数で集まって活動することを支援
◇本人支援であり、家族支援である。思春期である多感な時期の療育経験と、ご家族支援ができる経験豊富な人材育成が必要（人材不足）	療育経験のあるスタッフをPASSO (パッソ) で育成していく

以上のように、今後も、「PASSO (パッソ)」は時代や制度の変化をいち早くキャッチしながら、発達障がいのあるご利用者にとって必要な支援を発掘し、チャレンジしていこうと思います。

これからもご協力、ご支援よろしくお願ひします。





## アフリカの「見えない飢餓」の撲滅を目指して ①

アライアンス・フォーラム財団

プログラム・マネージャー 松 上 純一郎

私が所属するアライアンス・フォーラム財団ではアフリカの栄養問題を現地の食材で現地の人々の手によって改善するという取り組みを実施しています。

アフリカの飢餓問題と聞くと皆さんはどのようなイメージを抱くでしょうか。痩せ細って歩く気力をも失った子ども、栄養不足で母乳が出なくなった母親。このようなイメージが強いのではないかと思います。このイメージは1980年代にエチオピアで深刻な飢餓が発生した際に、アメリカのシンガー達のチャリティーソング「We are the world」が流れる中、世界中に飢餓の映像がセンセーショナルに報道され、多くの人たちのアフリカのイメージとして定着しました。

私が初めて世界で最も深刻な栄養問題を抱える国の一つであるアフリカの国ザンビアを訪問した時、私はこのようなイメージを抱いて現地を訪れました。しかし、私が目にした光景はそのイメージとは異なり、どちらかという少しぼっちゃりとした子ども達の姿でした。一部に痩せた子ども達もいましたが、一見健康そうに見える子ども達が大半でした。

実は、現在アフリカにおいて問題となって



HIV-AIDS 孤児

いるのは、目に見える「飢餓」ではなく、「見えない飢餓」と呼ばれる栄養不良問題なのです。つまり、人間の身体の成長に必要なタンパク質やビタミン、ミネラルなどの微量栄養素の不足による発育不全や免疫力の低下が大きな問題となっています。

ザンビアの子ども達はとうもろこしの粉から作る「シマ」と呼ばれる主食に偏った食事



スピルリナ入りのお粥作り

により、タンパク質と微量栄養素が不足しています。結果、身長は世界の平均より低く、免疫力の低下により高い乳幼児死亡率（1,000人あたり111人）につながっています。

一方で、炭水化物が足りていることから、体重は増加し、見た目にはぼっちゃり体型になっています。

私たちアライアンス・フォーラム財団ではこの「見えない飢餓」に対処するため、2008年よりアフリカ原産の高い栄養価を持つ「スピルリナ」という食用藻を用いて、アフリカ人によるアフリカ人の問題解決を目指して活動を展開しています。スピルリナは60~70%がタンパク質でビタミンやミネラルなどの微量栄養素を豊富に含むなど、「見えない飢餓」への対策にはうってつけの食材です。WHOも栄養不良に対して効



スピルリナ



お粥の食事風景

果的な食材であると認証するなど、国際的には非常によく知られた食材です。しかし、ザンビアではスピルリナ

は生産されておらず、全くの新しい食材でした。私たちは、スピルリナをザンビアに普及するために、まずスピルリナを国外から輸入して配給活動を実施することにしました。

やる気に満ちて開始した配給プロジェクトでしたが、当初から順調には進みませんでした。ザンビア人は食に対して保守的な傾向があり、アフリカが原産とは言え多くのザンビア人にとっては全く新しい食材であるスピルリナに対して、「新しい食材をザンビア人は受け入れられない」、「タンパク質の過剰摂取になるのではないか」、など否定的な意見も少なからず存在しました。私たちはそういった人達に対して粘り強く説明を続けました。

それに加えて、大きなハードルとなったのはスピルリナが「薬」ではないかという当局の見解でした。「薬」と判断された場合、スピルリナをザンビア国内で使用するためには、非常に厳しい規制をクリアする必要があります。プロジェクトは大幅に遅れることが予想されました。賄賂を要求されているのかと思われる場面もありましたが、当財団の理事達がザンビア政府と粘り強く交渉を行い、最終的には「スピルリナは薬ではない」という証明を取ることに成功しました。

こうした障害を乗り越え、2010年によくスピルリナを食品としてザンビアに輸入することに成功し、初めての配給活動を現地NGOのHIV/AIDS孤児の施設で実施することになりました。果たして保守的な国柄であるザンビアで、緑色のスピルリナを施設のスタッフが受け入れてくれるのか、また、孤児達が

スピルリナ入りの食事を食べてくれるのか、という不安を抱えた状態でのプロジェクト開始でした。しかし、NGOスタッフの子ども達をより健康にしたいという想いは強く、この新しい食物を思ったよりすんなりと受け入れてくれました。この施設に勤務していた青年海外協力隊員の日本人の協力もあり、配給活動を開始することができ、子ども達も最初は緑色に戸惑う場面もありましたが、NGOスタッフの支援で、徐々に慣れ、順調に食べる事が出来るようになりました。

1年にわたる配給活動を行った結果、「子ども達が活発になった」、「肌が綺麗になった」などのコメントがスタッフから聞かれました。配給活動により自信を深めた私たちでしたが、ザンビアでスピルリナを普及するためにはザンビア国内での栄養不良へのスピルリナの客観的効果を保健省に対して報告する必要があります。そこで私たちはより多くの子ども達を対象にした効果測定プロジェクトを実施することになります。(次号に続く)



子ども達との食事風景

### アライアンス・フォーラム財団

1985年に米国サンフランシスコでベンチャーキャピタリスト原丈人により設立。

新しい技術を使って世界を変えることを目標に活動する。

近年では日本企業の持つ技術、サービス、製品を発展途上国の生活水準向上に活用する活動に注力しており、スピルリナ・プロジェクトもその一環。

当プロジェクトは世界最大のスピルリナ生産メーカーである、DIC（旧大日本インキ化学工業）の技術支援を受けて実施している。

# 大阪発達障害総合支援センター新設のお知らせ

～生涯にわたる包括的支援の充実を目指して～

私ども法人は、「地域に生きる」の理念の下、法人本部のある高槻地域で暮らしている障害のある人たち、家族の人たちの様々なニーズに応え、その必要とされる支援サービスと生涯にわたる支援体制の創造を目指す「地域・一般化」と大阪府全域を対象として、自閉症・発達障害のある人たち、家族の人たちの支援に特化した「広域・特化」という二つの長期目標の実現に向けた継続的な支援サービスの提供とそれを可能とする支援体制の創造に取り組んでいます。

「広域・特化」事業としては、幼児・学齢期（小学校低学年）の子どもたちに対する療育支援・家族支援を担う「児童デイサービスセンターan」、自閉症療育センター『will』『Link』、そして、相談支援機関である「こども相談支援センターwish」、中高生の療育支援、発達検査、講師派遣を担ってきた「大阪自閉症支援センター」、成人期の人たちの

支援を担う「ジョブサイトよど」「ジョブジョイントおおさか」、発達障害者支援法に基づく「大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか」を運営し、生涯にわたる包括的な支援サービスの提供と支援体制の創造に取り組んでいます。

平成25年度より、私どもの「広域・特化」事業を更に発展させ、自閉症・発達障害のある人たちの生涯にわたるシームレスな支援サービス提供体制を強化するために、私ども法人の自閉症・発達障害関係事業を統括する「大阪発達障害総合支援センター」を創設いたします。

「大阪自閉症支援センター」については、その機能を新たに創設する「研修相談支援室」が継承するとともに、更に相談支援機能をより充実させます。

以下に各々の事業所の機能と役割について簡単に説明させていただきます。

事業所名	事業内容
研修相談支援室（新設）	主として中高生の自閉症スペクトラムのご本人・ご家族に対して、現行の福祉制度にないサービスを法人の公益事業として提供する。大阪自閉症支援センターで従来から行ってきた発達検査、中高生の本人支援（療育）、思春期講座、講師派遣に加えて、新規に相談支援事業の立ち上げ準備を行っている。
発達障がい者支援センターアクトおおさか	発達障害者支援法に基づく「発達障害者支援センター事業」を大阪府から委託を受けて実施。発達障がいのある方が、身近な地域で生涯にわたって自分らしく暮らしていけるようなバリアフリーの社会をめざし、発達障がいの理解や支援方法の普及と一貫した支援体制の構築のために、相談支援等の事業を行う。
児童デイサービスセンターan 自閉症療育センターwill/Link	サービス事業：児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業 自閉症及びアスペルガー症候群等の発達障がいのあるお子様と保護者の方を対象に、自閉症の特性に合わせた個別療育と保護者の方に対する研修を行う。尚、発達障がい児の専門療育機関として市町村より業務委託を受けており、委託先は以下の通り。 an：大阪市 will：高槻市・茨木市・島本町・摂津市 Link：枚方市・四条畷市・門真市・寝屋川市・交野市・大東市
こども相談支援センターwish	高槻市地域で生活をされている18歳未満の障がい（主に発達障がい）のある人やそのご家族の方に対し、困っていることや悩んでいることについての相談や情報提供などを行う。
ジョブサイトよど	サービス事業：生活介護・就労継続支援B型 青年成人期の自閉症・発達障害のある人たちに特化した支援サービスを行っている。個別ニーズと評価に基づき個別支援計画を立案し、利用者本位の支援を提供。ご本人の強みを活かした様々な活動を通じて、地域での豊かな暮らしの実現をサポートする。
ジョブジョイントおおさか	サービス事業：就労移行支援、自立訓練（生活訓練） 自閉症スペクトラム障害のある人に特化した就労支援サービスを行っている。一人ひとりの才能や興味関心を活かし、職業場面でうまく適応できるように、対人コミュニケーションと自己理解、また※セルフアドボカシーの支援に重点を置く。

※セルフアドボカシー：生活上の障害や困難のある当事者が、自分の利益や欲求、意思、権利を自ら主張し、自分自身、または他者のために権利擁護活動を行うこと。

# 北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成24年12月～平成25年2月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。  
 過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。  
 ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。  
 ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	平成25年度 新規療育児募集説明会日程のお知らせ (will/an/Link)
	平成25年度 新規療育児募集要項 更新 (will/an/Link)
	平成25年 療育利用申し込みについて (an)
	an新聞・will新聞・Link新聞掲載
	Linkパンフレット 平成25年度版 掲載
	レジデンスなさはら施設ご案内 掲載
お知らせ	「広報たかつき 特集・発達障がい～生き生き発達できるまちへ」 平成24年12月10日号に記事掲載
	NPO法人 PandA-J「機関誌 PandA-J No.16(2012年11月発行)」に常務理事・ 松上利男の対談記事掲載
機 関 誌	52号掲載
よどのコロック	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	CafeBe ミュージック・ディ情報更新



# 掲示板コーナー

(平成24年12月から平成25年2月まで)

## 法人本部総務部掲示板

12月	行 事
4日	重度・高齢化プロジェクト会議
10日	経営会議
12日	自閉症啓発デー実行委員会
18日	工賃向上講座・合意形成講座 主催：株式会社インサイト
	運営会議
25日	虐待防止委員会
26日	総務会議

1月	行 事
7~8日	内定者面談
10日	経営会議
11日	全国自閉症者施設協議会会議 (高槻現代劇場 401号室)
12日	平成25年採用説明会 (生涯学習センター 研修室)
15日	重度・高齢化プロジェクト会議
16日	自閉症啓発デー実行委員会
17日	北摂杉の子会後援会役員会 (高槻現代劇場203号室)
22日	工賃向上講座・合意形成講座 主催：株式会社インサイト
23日	総務会議
27日	平成25年採用試験(生涯学習センター 研修室)
28日	運営会議

2月	行 事
2日	第4回法人研修(高槻商工会議所 大ホール) 実践報告会 ①JJおおさか 就労支援 ②重度・高齢化プロジェクト ③療育支援部 巡回支援 ④萩の杜 行動課題 ⑤ジョブサイトひむろ 運動支援 ⑥ぶれいす Be 重身支援 ⑦アクトおおさか 相談支援/大阪自閉症 支援センター 本人支援 グループディスカッションと質疑応答
6日	自閉症啓発デー実行委員会
7日	平成25年採用試験面接(法人本部 4階会議室)
12日	経営会議
15日	自閉症啓発デー実行委員会
19日	工賃向上講座・合意形成講座 主催：株式会社 インサイト
22日	虐待防止委員会 運営会議
25日	全国自閉症者施設協議会会議 (高槻現代劇場 401号室) 内定者施設見学会
27日	総務会議
28日	経営会議

(河辺 記)



法人研修 内定者紹介



## 萩の杜 掲示板

### ふれっと作品展

ご利用者のみなさまが、日々の活動の中で作成していただいた作品を展示しました。個性豊かな作品展になりました！



作品展示の様子



作品を見た後は、ふれっとカフェで  
コーヒータイム♪

### クリスマス忘年会

一年間の感謝をこめて楽しいパーティーを開きました。外食やバイキングパーティ、ケーキ作りなどなど、ご利用者のみなさまも笑顔で楽しんでいました！



A・Bグループ合同バイキング、美味しいケーキも!!



ケーキ作り、上手にできるかな？ サックスの生演奏も♪♪♪

(山根 記)

## ジョブサイトひむろ掲示板

12～2月の外出時の写真を掲載しています。  
今期は各グループのレクリエーションに加え、祝日を利用したイベントも開催され、ひむろのご利用者の方々も多数参加されました。

### そうぞう4レクリエーション

12月12日



### そうぞう1レクリエーション

1月16日



### 祝日プログラム (片山ハッピーミュージック演奏)

2月11日



(平野 記)

## 発達障害支援部掲示板

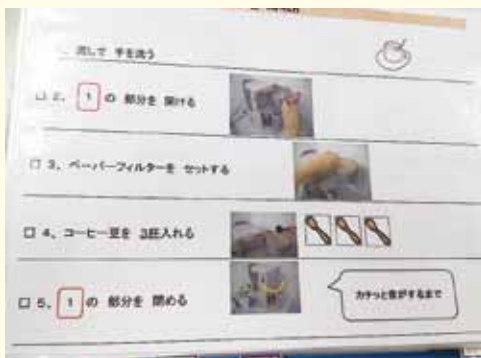
今回は、アクトおおさかでの作業体験の取り組みをご紹介します。

アクトおおさかでは、主に相談を通して、自分自身のことへの理解を深める取り組みをしていますが、就労経験がほとんどなかったり、生活スキルや社会的経験が乏しい場合には、過去を振り返っても、なかなか自分のことが見えない場合があります。

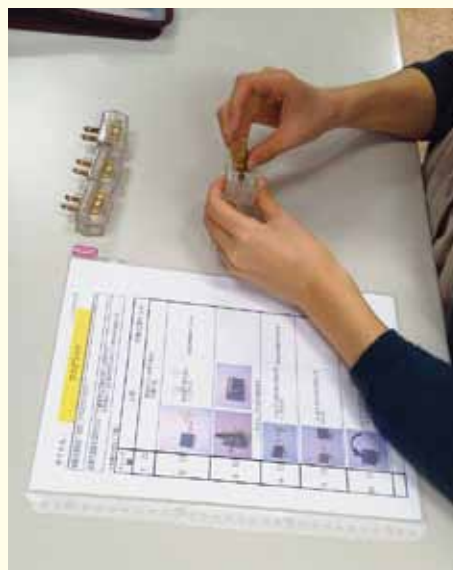
そこで実施しているのが、作業体験です。

実際に簡単な作業を体験してもらい、終わったらすぐに“振り返り”を行います。「振り返りシート」などのワークシートを活用して、よかったこと、難しかったこと、反省点などを確認します。この振り返りを行うことで、得意なことに気づいたり課題を発見できるよう促します。また、支援者から評価を具体的に返すことで気づきを促し自己理解をさらに深めていきます。

(新澤 記)



コーヒー淹れ



コンセントプラグ組み立て



パンフレット折り

## 発達障がい児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

12月	行	事
7日	保護者研修	入門
8日	施設見学会	事業所会議
21日	保護者研修	実践
26日	ケース会議	療育支援部 合同研修 たんぼぼ会
28日~ 1月3日	冬期休暇	

1月	行	事
11日	保護者研修	入門
18日	ケース会議	
19日	施設見学会	
25日	保護者研修	実践

2月	行	事
8日	保護者研修	入門
16日	平成25年度新規療育児募集	説明会
19日	平成25年度継続児	説明会
22日	保護者研修	実践

○自閉症療育センターwill

12月	行	事
7日	保護者研修	入門A
8日	施設見学会	
14日	保護者研修	入門B
26日	療育支援部	合同研修 たんぼぼ会
28日~ 1月3日	冬期休暇	
1月	行	事
11日	保護者研修	入門A
18日	保護者研修	入門B
19日	施設見学会	
25日	実践交流会	
26日	平成25年度新規療育児募集説明会	
29日	事業所会議	
2月	行	事
2日	法人研修	
8日	保護者研修	入門A
15日	保護者研修	入門B
22日	ケース会議	
23日	施設見学会	

○自閉症療育センターLink

12月	行	事
7日	保護者研修	入門A
8日	施設見学会	
14日	保護者研修	入門B
26日	事業所会議	
	療育支援部	合同研修 たんぼぼ会
28日~ 1月3日	冬期休暇	
1月	行	事
11日	保護者研修	入門A
15日	事業所会議	
18日	保護者研修	入門B
19日	施設見学会	
25日	実践交流会	
26日	平成25年度新規療育児募集説明会	
	事業所会議	
2月	行	事
1日	避難訓練	
2日	法人研修	
8日	保護者研修	入門A
15日	保護者研修	入門B
22日	ケース会議	
23日	施設見学会	
26日	事業所会議	

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

よどのコロッケでは、季節の商品を発売しています！  
12月はチキンとコロッケそしてポテトのクリスマスセット。



クリスマス  
セット

2月と3月は、ラブラブバレンタインデー＆ホワイトデー  
ということでハート型コロッケ。  
大切なあの人におひとついかがですか？



ハート  
コロッケ

12月、1月、2月の土曜開所日はクラブ活動です。  
運動クラブ・音楽クラブ・鉄道クラブに分かれて楽しみました！



(田端 記)

## ふれいすBe 掲示板

12月	行	事
1日	Cafe Beにてカフェコンサート開催（出演：京都吹奏楽団様 来場83名）	
3日	高槻北消防署の立ち入り検査実施	
14日	郡家小学校4年生16名が、福祉学習の一環として来所	
15日	土曜開所日としてクリスマス会開催	
29日～ 1月3日	冬期休暇期間	

見学：3件11名

1月	行	事
3日	今宮戎神社でのチャリティーバザーにてガレットの販売 (主催者の大阪ローターアクトクラブ様のご厚意により販売させていただきました)	
8～9日	藍野大学より作業療法実習生2名受入	
16日	高槻市民後見人養成講座より受講生2名実習受入 (16日、21日～25日、30日、2月6日)	
18日	ふれいすBeご利用者の成人式（対象者8名）	
19日	土曜開所日として餅つき大会実施 (昨年同様、寺田軌道株式会社様より全面的にご協力いただきました)	
21・26日	来年度の事業編成に関する保護者説明会を開催	
28日	大阪保育福祉専門学校より実習生1名受入（～2月9日）	

見学：2件18名

2月	行	事
4日	大阪保健医療大学より作業療法実習生1名受入（～22日）	
12日	生活介護事業所「友遊の里」より職員研修として職員の実習受入 (12日、19日、26日)	
14～15日	兵庫医療大学より作業療法実習生1名受入	
16日	土曜日開所	
25日	ガレット販売（上宮天満宮の天神まつり：高槻作業所連絡会と合同企画）	

見学：2件13名

(下 記)

ふれいすBeでは公益財団法人 日本財団様の平成24年度福祉車両助成により「日産キャラバン（車いす対応車）」を購入しました。主に重症心身障害のご利用者様の送迎に使用してまいります。  
法人の活動にご理解をいただきました日本財団様に厚くお礼申し上げます。



【クリスマス会】



【カフェコンサート】



【成人式】



天神まつり



今宮戎

餅つき大会



## ジョブジョイントおおさか掲示板

12月	行	事
1日	土曜開所日	通常プログラム(11月14日の振替)
7日	会社見学会	(シニア・ミドルチーム) 株式会社キリン堂
15日	土曜開所日	家族ミーティング/クリスマスランチdeテーブルマナー (ホテル阪急エキスポパーク)
28日	午前	大掃除・午後忘年会
29日~ 1月6日		年末年始休暇

1月	行	事
12日	土曜開所日	土曜クラブ
15日~ 26日		個別支援計画・報告懇談
23日	探検クラブ	(京都嵐山探検、ヤクルト工場探検)
26日	土曜開所日	通常プログラム(23日水曜日の振替)
29日	会社見学会	(シニア・ミドル・ルーキーの希望者) ハウスあいファクトリー株式会社

2月	行	事
13日		後期健康診断
16日	土曜開所日	土曜クラブ/家族ミーティング

(東島 記)

### クリスマスランチdeテーブルマナー

阪急エキスポパークにて



福笑い

探検クラブ  
京都嵐山



## 萩の杜家族会掲示板

12月	行	事
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン参加	
12日	杉の子農園収穫祭に参加	
17日	安全対策委員会	

25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度の家族会役員の選定について</li> <li>・各部会報告</li> </ul>
27日	カトリック高槻教会にて花の販売
30日	四家族会会長会議

1月	行	事
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン参加	機関誌発送協力
24日	サークル萩開催	手作り品の作成と情報交換会
25日	定例会	フリートーク「真野先生の巡回診療について」 萩の杜 勝部施設長 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉の子農園収穫祭の報告</li> <li>・施設からの報告</li> </ul> 新年度に向けて／安全対策委員会より報告

2月	行	事
11日	イオン黄色いレシートキャンペーン参加	
21日	母親親睦会	京都ホテル・こよみ坂 23名参加
24日	カトリック高槻教会にて花の販売	
25日	安全対策委員会	
28日	サークル萩開催	手作り品の作成と情報交換会

(深尾 記)

## ジョブサイトひむろ家族会掲示板

12月	行	事
12日	なさはら農園収穫祭	関係者・利用者・地元有志総勢150名参加

30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真野先生の役割についてより深化させるため杉の子カルテを推進させ情報を共有</li> <li>・重度化・高齢化対策 他の施設見学を行う。候補として「三島の里」「いいなあぐうてん」</li> </ul>
-----	---

1月	行	事
11日	広報委員会	機関誌52号発送協力 法人本部
17日	北摂杉の子会後援会役員会	高槻現代劇場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会への協力をどのように進めてゆくか</li> <li>・仕入れ先業者の方々への啓蒙活動</li> <li>・今まで萩の杜が会計を引き受けてきたが、ジョブサイトひむろ或はぶれいすBeから新しい会計を選出してほしいとの要望</li> </ul>
21日	第4回役員会	ゆうあいセンター <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員改選について 今回の改選は副会長1名、事務局1名、会計監査1名 副会長には干場さんが、事務局には山口さんが内諾</li> <li>・定例会日程について 2月22日に決定</li> <li>・総会日程について 4月16日に決定</li> <li>・父親会について 3月23日を目標にして調整</li> <li>・来季の構想 役員会・定例会について1年間の予定を組んでしまう</li> <li>・会費未納について 会計からの請求に対して滞っている場合は会長が説得</li> <li>・役員再任期間について 現行の3年は負担感が強いので2年にする</li> <li>・会計増員について 役員再任期間が2年になれば、未経験者がいきなり就任することで負担が大きく2名体制にするが、会則の変更が必要なため、総会において会則変更が承認された後に増員する</li> </ul>

2月	行	事
22日	第3回定例会	高槻現代劇場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人から 中村理事長より 平成24年度財務状況、平成25年度計画の概要説明 沖本副理事長より 杉の子農園の状況、収穫祭の報告</li> <li>・ひむろ報告 平野施設長より来期計画ための満足度調査実施の説明 ノロウイルス感染防止策について説明 カフェ開所の御礼と今後の協力要請</li> <li>・役員改選について 副会長は干場さん、事務局は山口さんに決定 会計監査並びに会則変更による増員会計については再度検討 役員再任期間は2年とする</li> <li>・その他 後援会の会計に新田さんが就任 父親会は3月23日開催、皆様方のご協力をお願いします</li> </ul>
	第5回役員会	定例会終了後に新旧役員により今後の計画打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の定例会の取りまとめ</li> <li>・次回の役員会開催日程 3月22日に新旧役員の引き継ぎ並びに慰労会を開催 4月5日に新役員による役員会開催</li> </ul>

(宮階 記)

30日	第5回家族会会長懇談会	法人本部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・杉の子農園収穫祭開催に当たって前日にノロの疑いのある事案が発生した後の開催に問題提起 主催担当者の判断にて安全確認を十分に行った事を確認</li> </ul>
-----	-------------	---



## ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

12月	行	事
4日	オアシス役員会にて100円喫茶実施 家族会役員会実施。100円喫茶実施	
9日	大阪自閉症協会公開勉強会にて100円喫茶実施 大阪自閉症協会サロンにて100円喫茶実施	
12日	発達障害学生のためのインターンプログラム実践報告会（会長・役員参加）	
13日	十三市参加	
14日	オアシスサロンにて100円喫茶実施	
18日	オアシス保護者による実践報告会（会長・役員参加） 12月家族会定例会実施 松上常務理事兼施設長、佐々木副施設長、高橋副施設長出席。会員16名参加	

1月	行	事
15日	オアシス役員会にて100円喫茶実施 家族会役員会実施。100円喫茶実施	
17日	北摂杉の子会後援会（会長出席）	
18日	オアシス座談会にて100円喫茶実施	
21日	ジョブサイトよど主催の勉強会にて100円喫茶実施	
22日	オアシスサロンにて100円喫茶実施	
30日	四家族会会長懇親会参加	

2月	行	事
5日	家族会役員会実施。100円喫茶実施	
7日	勉強会（オアシスと共催:34名参加） 講師：北摂杉の子会スーパーバイザー中山清司氏 テーマ：「問題行動について」 100円喫茶実施	
17日	オアシス役員会にて100円喫茶実施	
18日	ジョブサイトよど主催の勉強会にて100円喫茶実施	
21日	大阪自閉症支援センター研修にて100円喫茶実施	
25日	大阪府発達障がい団体ネットワーク参加（役員2名） 100円喫茶実施	

（福田 記）

## ぶれいす Be 家族会掲示板

12月	行 事
6日	コーラスグループ「コールつばさ」練習（今城塚公民館）
8日	第3回父親の会（カフェBe）出席者12名 レジデンスなさはら管理者平野貴久さんより「新規ケアホームの開設まで」と題して、「レジデンスなさはら」の開設までの経過を写真や図面などを交えた資料をもとに、詳細にお話をいただいた
12日	杉の子農園収穫祭 参加 杉の子農園プロジェクトチームのお世話のもと、この秋の収穫の喜びを分かち合いたいと、各家族会の有志の人達も参加して、次々と小型バス等で到着する各施設の子供達に、焼きそば、豚汁、茹やじゃがいも等がふるまわれた。参加されたお父さん、お母さんご苦労さまでした
13日	役員会（ぶれいす Be 会議室） ・今年度の法人への寄附手続きについて ・次期役員募集アンケートについて ・AR3会員向けショートステイ再開の文書について ・その他、下施設長より施設報告
19日	法人への寄付金送金 会員皆様に替って4,504,400円を会長と会計が高槻北郵便局より、法人本部に送金

1月	行 事
17日	役員会（ぶれいす Be 会議室） ・法人への寄附手続き完了確認 ・次期役員候補アンケート結果確認 ・「Be どうし」の原稿について ・1~3月の活動について ・その他、下施設長より施設報告 北摂杉の子会後援会臨時役員会 出席
21日	コーラスグループ「コールつばさ」練習（今城塚公民館）
30日	四家族会会長会議

2月	行 事
7日	三役会（ぶれいす Be 会議室） 家族会会長・副会長・会計出席
12日	コーラスグループ「コールつばさ」自主練習（今城塚公民館）
14日	役員会（今城塚公民館） 第1部 次期役員候補決定 3月ショートステイ懇談会について その他 第2部 次期役員候補の皆様を迎えて、全員の紹介と役員の役割について 平成25年度基本計画について 4/13(土)総会までのスケジュールについて その他、下施設長より施設報告
19日	コーラスグループ「コールつばさ」練習（今城塚公民館）

（本城 記）

## 大阪自閉症支援センターを発展させる会 オアシス掲示板

12月	行 事
4日	12月役員会
14日	オアシスサロン
18日	実践報告会

1月	行 事
13日	いるか通信就労体験
15日	1月役員会
18日	谷岡としこ先生を囲んでの座談会
21日	いるか通信機関誌発行
22日	オアシスサロン
25日	臨時役員会
28日	社会福祉法人大阪市立中央授産場

2月	行 事
7日	中山清司先生の勉強会
14日	臨時役員会
15日	オアシスサロン
17日	2月役員会
25日	大阪府発達障害団体ネットワーク会（会長・副会長出席）

（村井 記）

## 北摂杉の子会後援会掲示板

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ふれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

### <近況報告>

12月

個人会員：569名、団体会員：12団体  
合計：581名／団体 寄付：なし

1月

個人会員：573名、団体会員：12団体  
合計：585名／団体 寄付：6件

2月

個人会員：575名、団体会員：14団体  
合計：589名／団体 寄付：なし  
(2月末までの新規会員)

個人会員：59名、団体会員：6団体 合計：65名／団体

### <報告事項>

1) 今年度の2月末までに33件、378,532円の寄付、1,324,000円の会費を頂きました。ご協力ありがとうございます

2) 1月17日(木)に臨時役員会を開催し、後援会の現状報告(会員数、収支など)、後援会に入会していただくためのお願いの方法などの話し合いを行いました

(棚山 記)

## 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで、もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会  
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史  
口座番号：5085555

法人へのご寄附に感謝いたします。(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

棚山薫晴 中村節史 小川敏夫 森田弘 河端良一 不二園芸 本吉貞子

後援会入会と会費納入(平成24年9月3日～平成25年2月18日)

相生君代 赤尾浩子 有田和弘 石橋洋子 伊藤法雄 稲井由沙子 岩 忠 岩 愛子 岩 敬子 岩 弘子  
植松小絢 植松小遥 植松信機 植松登志子 植松芳哲 植松里枝 植松正機 大仲由香子 大野捷昭 大野晴夫  
大野忠春 大野博美 大野博夫 大野容子 小川祥子 小川敏夫 尾木 豊 沖田正治 小野明子 小野明子  
沢田隆夫 白倉俊雄 新谷 敦 ダイキョウ総合観光株式会社 代表取締役 岩佐喜久 高島鴻志 高島美津子  
田口道代 辰巳浩一郎 辰巳良知 津田敬子 富坂健治 富坂昭子 中西君枝 平瀬武明 広井 泉 広井良平  
藤原 均 降幡 聡 降幡宏子 本田 聡 本田英世 本田賀子 本田宏美 本田俊之 本田利秋 増田桂子  
松原茂樹 三田智子 森田 傑 矢橋 文 矢橋美智子 矢橋雅文 山口賢治 山口文子 行成章子 米谷好衛  
匿名希望 トヨタカローラ新大阪株式会社 名神茨木店 株式会社 二井清治建築研究所 匿名希望

後援会への寄付(平成24年12月3日～平成25年1月11日)

中村義昭 橋川靖子 茨木春日丘教会 矢橋雅文 伊藤法雄 藤原 均

家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

ほかほか弁当園田店 矢橋あや

物品のご提供に感謝いたします。(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

不二園芸 南野 高石 藤谷 仲 吉岡茂子 鶴谷久子 岡田公子 藤岡紀子

ボランティアに感謝いたします。(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

佐々木英世 坂井恵美子 草刈茂代

(敬称略 順不同)

## 施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203  
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155  
[E-mail] info@suginokokai.com  
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130  
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**  
(短期入所・日中一時支援)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130  
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **ケアホーム とんだ** (共同生活介護)  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **ケアホーム みやた** (共同生活介護)  
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活介護)  
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**  
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222  
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**  
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900  
[E-mail] placebe@suginokokai.com  
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**  
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900  
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**  
(発達障害者支援センター事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004  
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com  
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室・PASSO**  
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL&FAX (06)4862-5454  
[E-mail] o-center@suginokokai.com  
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015  
[E-mail] an@suginokokai.com  
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F  
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056  
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**  
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)  
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F  
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056  
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F  
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412  
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015  
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007  
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会  
理事長 中村 節史  
発行所 北摂杉の子会  
住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1  
発行日 2013年4月10日  
定価100円